



Alzheimer's Forgetting Piece by Piece

定価20ドル
Mallery Press, Inc.
4206 Sheraton Drive, Flint,
MI 48532, USA
http://www.AlzQuilts.org
ISBN978-0-943079-09-7

海外キルトトピックス

今、話題の本2冊を特別にのぞいてみましょう。

1. アルツハイマーを考える from USA

「アルツハイマー」を題材に製作したキルトを紹介した本「Alzheimer's Forgetting Piece by Piece」が米国で出版され話題を呼んでいます。全54点にのぼる作品からは制作者たちの思いが静かに伝わってきます。作品と作者のメッセージの一部をご紹介します。

【かつてはこうだった】 110.5×96.5cm
ソニア・M・キャラハン
【Women Who Were】 Sonia M. Callahan



母のために作ったこのキルトは、アルツハイマーの患者の一瞬をとらえたものです。患者に共通する、記憶が混乱する悲しい現実を描いています。

【研究を…まだ時間のあるうちに】
ナンシー・ブレナン・ダニエル 111.5×76cm
【Research Now...There's Still Time】
Nancy Brenan Daniel



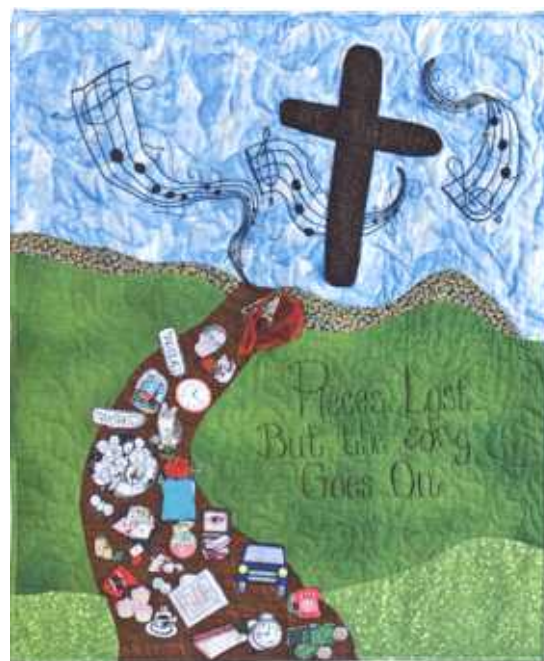
このキルトは病気の研究をする人々に捧げたものです。治療法が見つかって、誰もが頭がはつきりしたまま、愛する人と一緒にいられる日が1日も早く来ることを願っています。

【ネヴィリン】 104×89cm リンダ・J・ハフ
【Nevilyn】 Linda J. Huff



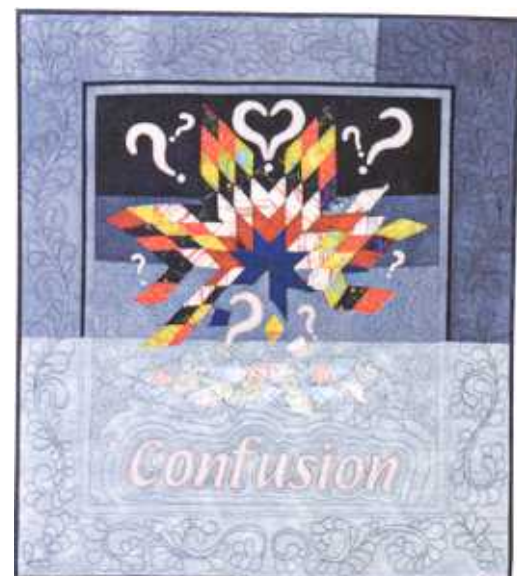
タイトルの「ネヴィリン」は、私の祖母の名前です。ボーダーに並べた868個の四角いピースは、祖母の記憶であるとともに、祖母の人生に起こった様々な出来事の象徴です。祖母の人生のピースのすべては、今や永遠に失われてしまいました。

【歌は続く】 ジャネット・M・ヘリカー 89×89cm
【The Song Goes On】 Janet M. Heliker



女性にとって、持っているハンドバッグとその中身を見れば、その人がどんな人がわかります。アルツハイマーという道に投げ出されたバッグの中身は、これまで生きてきた人生の断片です。最後まで音楽を忘れなかった母と祖母を思って作ったキルトは、私の悲しみを癒してくれました。

【混乱】 82.5×76cm エルシー・キャンベル
【Confusion】 Elsie Campbell



中央のローンスターの背景を3つに分割し、アルツハイマーの進行段階を表しました。上部(黒)は初期の段階。病気が進行するにつれ、下に移行し、下部(グレー)の最終段階では、最も深い記憶(中央の葉のひし形のピース)までも崩れ落ち、テーブルの上に散らばっています。

【ねじれた道】 90×85cm ダイアン・ピーターズマーク
【The Crooked Path】 Diane Petersmark



アルツハイマーの患者がたどる道は長く、曲がりくねっています。時が経つにつれ、それはどんどん狭くなります。悲しい体験を経て、私はやっと父の病気を受け入れられるようになりました。このキルトに副題をつけるとすれば、「お父さん私に手をとらせてちょうだい」となるでしょう。